

令和4年度 石神第二小学校学校経営グランドデザイン

《令和4年度学校経営方針》

学 校

- ◎ 気持ちのよいあいさつと笑顔にあふれ、
地域・家庭と共に歩む学校
- ・・・子どもおとなも気持ちの良いあいさつと笑顔にあふれる学校
- ・・・地域・家庭と連携協働し、地域の宝である子どもを共に育てようとする学校
- ・・・人とのコミュニケーションや地域との関わりをとおして豊かな心を育む学校
- ・・・学ぶ意欲や所属感が味わえるモチベーションの高い学校

教 師

- 子どもと共にある教師
 - ・・・子どもと共に学び、感動し、行動する教師
- 保護者と共に子どもを語る教師
 - ・・・保護者との心の交流を図る教師
- 研修に励み、豊かな人間性をもつ教師
 - ・・・専門的な力量を高め、社会的視野を広げる教師
- 子どもが見える教師
 - ・・・子ども一人一人を受容し、理解し、共感できる教師

児 童

- 【郷土】「石神（南相馬）を愛する子ども」の育成
 - ・・・地域に関心を持ち、そのよさに気づき、進んで動きかける子ども
- 【知】「すすんで学ぶ子ども」の育成
 - ・・・進んで学習に取り組み、友だちと共に学び合う子ども
- 【徳】「明るく思いやりのある子ども」の育成
 - ・・・相手の立場に立って考え、行動する子ども
- 【意】「最後までがんばる子ども」の育成
 - ・・・「やってみよう」という意欲をもって、目標に向かって挑戦する子ども
- 【体】健康で元気な子ども」の育成
 - ・・・めあてをもって意欲的に運動し、進んで体づくりをする子ども
 - ・・・自他の生命を大切にする子ども

＜基本方針＞

学校と地域・家庭が
連携・協働し、「手が届く」
「目が届く」「心が届く」
教育活動を推進する。

＜教育目標＞

- 進んで学ぶ子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 最後までがんばる子ども
- 健康で元気な子ども

＜重点目標＞

自分で 考えよう

Ⅲ 生き抜く力の基盤となる

健やかな体の育成

- たくましい体を育成します。
 - ・運動身体づくりプログラムによる教科体育の充実と計画的な運動の継続・実践（体力テスト **AB40%**以上DE20パーセント未満）
 - ・自分手帳の意図的・計画的・効果的な活用
 - ・外遊びの推進
 - ・地域の社会体育の指導者や専門の講師の積極的な活用
- ◎ 望ましい食・生活習慣の定着を図ります。
 - ・望ましい生活習慣の日常的な指導と家庭への情報提供・連携推進（メディア使用1時間以内、朝食摂取率100%、十分な睡眠時間の確保）
 - ・野菜づくり体験学習の実施
 - ・栄養教諭とのTT授業の継続実践
 - ・「マイベントウの日」「十七字のふれあい」を関連させた食生活への意識向上に向けた取組
- 自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育成します。
 - ・自校の実態を踏まえた安全教育・防災教育の意図的、計画的な実践（放射線教育、防災教育の年間計画への位置づけ、引き渡し訓練の実施）
 - ・日常的な目配りや点検による危険防止と安全管理の徹底

Ⅰ 学力の向上

- 体験的・問題解決的な活動を取り入れた学習や主体的・対話的で深い学びに向けて授業実践します。
 - ・「学びのスタンダード」「南相馬市授業改善プラン」に沿った共同歩調での授業実践
 - ・思考を深めたり広げたりできるようなコーディネート工夫
 - ・自分の考えを表現し、友達の考えを認め合う態度の育成指導の重視（学校評価アンケート85%以上）
 - ・根拠を明確にして書く学習活動の指導の重視
- 基礎基本の確実な定着を図ります。
 - ・「まとめ・振り返り（適用・習熟も含む）」の時間の確保
 - ・教科担任制の導入に向けた先行研究の継続
 - ・6年間一貫した学習規律の確立
 - ・家庭学習スタンダード、石神3校ブロック家庭学習の手引、各学年自主学習の手引きを活用した自己マネジメント力の醸成
 - ・家庭学習強化週間の実施（年6回）
- 知識基盤社会を生きるために必要な資質・能力の向上を目指します。
 - ・「思考力」「判断力」「表現力」の育成を重視した「総合的な学習の時間」の充実
 - ・地域に根ざした「南相馬ふるさと教育（至誠学：まごころ学）」を効果的に進めるため、系統的な学習計画の作成と実践

スローガン
輪(和)になって
同じベクトル
子のために

Ⅱ 豊かな心の育成と 互いを認め合う集団づくり

- 多様な体験活動の充実を図ります。
 - ・「自分を大切にする」「友だちを大切にする」精神の涵養のための授業実践
 - ・「感動と感謝」「自己肯定感」を育む教育活動の工夫
- ◎ 思いや考えを伝え合い、自他の生き方を考える道徳教育・人権教育の充実を図ります。
 - ・いじめアンケートの有効活用、いじめ見逃し「0」にむけた指導の重視、SOSの出し方教育の実践
 - ・児童虐待未然防止のための見守り強化
- 学校司書と協働・連携して読書活動を推進します。
 - ・家庭読書（毎月第3日曜）の実施
 - ・図書委員会の主体的な活動の促進
- 教育相談・特別支援教育・生徒指導の充実を図ります。
 - ・自己決定の場、自己存在感、共感的な人間関係を生かした指導と組織的な対応、子どもの実態把握と共通理解にもとづく指導支援
 - ・QUテストの効果的な活用
 - ・学級の枠をこえた学年（ブロック）経営
- 幼小・小中接続を意識した教育活動を推進します。
 - ・キャリアパスポートの効果的な活用
 - ・実態を踏まえたスタートカリキュラムの活用

Ⅳ 開かれた、時代に沿った

学校づくり

- 説明責任を果たすことができるよう積極的に情報を発信します。
 - ・各種通信等の発行、HP更新
- 学校評価の更なる充実を目指します。
 - ・児童・保護者アンケートを生かした自己評価及び学校関係者評価の実施と公表
- ◎ 地域・家庭との連携・協働に立脚したカリキュラムマネジメントを実践します。
 - ・地域の環境や人材・施設の積極的な活用（石神生涯学習センター、まちづくり出前授業）
 - ・子どもたちが将来、社会で活躍するのに重要なキャリア形成（ロボットテストフィールド、ゆめサポート南相馬、スバル自動車）
- 教育の質及び子どもと向き合う時間を確保します。
 - ・業務の効率化による働き方改革の推進
 - ・Build&Scrapという視点に立った教育活動の見直し・改善